

第一章 時代が欲した大インフラ事業——琵琶湖疏水と黒四ダム 15

- 1 琵琶湖疏水 京都を渇水知らずの都市にした多目的計画 18
- 2 黒四ダム 戦後復興のダイナミズムの象徴 29

第二章 統治の象徴としての「祈りと美」——奈良の大仏と姫路城 53

- 1 奈良の大仏 世界国家を目指した日本初のビッグプロジェクト 54
- 2 姫路城「機能の中の美」によって権威を表現 77

第三章 戦争というドライブ——マンハッタン計画とアポロ計画 87

- 1 マンハッタン計画「国家プロジェクト」で実現に至った原子爆弾 89
- 2 アポロ計画 人々を奮い立たせた「明確な目標」 105

第四章 対照的な運命の交通システム——東海道新幹線とコンコルド 117

- 1 東海道新幹線 斜陽の鉄道を大復活させた起死回生のプロジェクト 119
- 2 コンコルド マーケットニーズがなかった革新的技術 132

第五章 究極のエネルギーを求めて——欧州と日本の核融合プロジェクト 143

- 1 J E T 欧州連合トーラス装置 155
- 2 L H D 日本独自の仕様である「大型ヘリカル装置」 168

第六章 「物質の根源」を探る終わりなき旅——欧州の挑戦、米国の挫折 183

- 1 L H C 欧州の力を結集した大型ハドロン衝突装置 199
- 2 S S C 拙速な計画策定と官僚主義による失敗 214

第七章 プロジェクト一人歩きの悲劇——チャレンジャーともんじゅ

221

- 1 チャレンジャー事故 政治的判断が引き起した悲劇 223
- 2 もんじゅ事故 ナトリウム漏れ火災を招いた初歩的ミス 233

あとがき 241

参考文献 245